

令和2年度 第1回図書館協議会

資料

令和2年10月9日(金)

柏市立図書館

次 第

1 開会

2 部長挨拶

3 会長挨拶

4 報告事項

(1) 令和2年度下半期事業予定

(2) 資料収集方針改定の骨子案について

(3) 昨年度からの柏市立図書館協議会の振り返り

(4) 令和元年度第3回柏市立図書館協議会

グループワークの振り返り

5 協議内容

情報提供：「地域資料の収集のきっかけとその必要性」

グループワーク：「今後の地域資料の収集・保存・活用に関する意見出し」

6 閉会

目 次

1	柏市立図書館協議会委員名簿	1
2	令和2年度下半期事業予定	3
3	資料収集方針改定の骨子案について	5
4	昨年度からの柏市立図書館協議会の振り返り	6
5	令和元年度第3回柏市立図書館協議会 グループワークの振り返り	7
6	情報提供とグループワーク	8

1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和2年10月9日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育関係者	かとう けいこ 加藤 桂子	元柏市立酒井根小学校長 柏市学級経営アドバイザー	
2	〃	ささま ひろみ 笹間 ひろみ	柏市学校図書館コーディネーター	
3	〃	おおの みやこ 大野 都	柏市学校図書館アドバイザー	
4	社会教育関係者	まつきよ ともひろ 松清 智洋	NPO法人柏ソーシャルキャピタル協会理事	副会長
5	〃	はむら たいが 羽村 太雅	柏の葉サイエンスエデュケーションラボ会長	
6	〃	みやじま きりえ 宮島 衣瑛	一般社団法人 Coder Dojo Japan 理事	
7	家庭教育の向上に資する活動を行う者	くぼた ともこ 窪田 友子	東葛飾地区母親読書センター会員	
8	〃	うえの ひろみ 上野 妃呂美	元柏市立保育園父母の会連合会長	
9	〃	ますやま あけみ 増山 暁美	柏ふれあいブックスタートの会副委員長	
10	学識経験者	みうら あきひろ 三浦 章宏	元千葉県立西部図書館長 千葉県立西部図書館主任上席司書	会長
11	〃	すがはら きょうこ 菅原 京子	高田松ヶ崎地域柏市民健康づくり推進員ブロック長	
12	〃	たんま やすひと 丹間 康仁	千葉大学准教授	
13	その他	たなか れいじろう 田中 礼二郎	公募委員	

(敬称略)

任期：令和元年6月1日から令和3年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	生涯学習部	部 長	宮島 浩二
2	図書館	館 長	橋本 賢一郎
3	〃	統括リーダー	柳川 行秀
4	〃	副主幹	千田 雅之
5	〃	副主幹	高野 幸子
6	〃	主査	川本 大輔
7	〃	主事	栗田 佳保里
8	生涯学習課	課長	沖本 雅樹
9	中央公民館	館長	山岡 康宏
10	文化課	課長	吉田 敬

2. 令和2年度下半期事業予定

○下半期の主な事業

1 図書館システムのリプレースと図書館ホームページのリニューアル

【事業内容】※令和2年8月25日付け書面報告資料より再掲

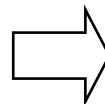
令和2年3月13日の「柏市図書館システム賃貸借等に係る公募型プロポーザル」の結果、事業者を京セラコミュニケーションシステム株式会社に変更しました。新たな図書館システムでは、操作性の向上など利用者機能の強化を図り、市民サービスの向上を目指します。

新システムの稼働は、令和2年11月3日からとなり、システムの入替えに伴い、10月19日から11月2日まで休館とします。

図書館ホームページ

現在のトップページ

リニューアル後のトップページ(仮)



2 中学生ビブリオバトル

【事業内容】

各中学校からの参加者がおすすめの本を持ち合って紹介した後、一番読みたくなった本「チャンプ本」を決定します。

中学生が本を読み、考え、感じた思いを、同じ中学生だけでなく、他の世代にも伝えていくことで、深い読書力やコミュニケーション力を身につけるとともに、世代間理解を促進する機会とします。

なお今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、特定の会場に一堂に会して行うことはせず、オンラインにより開催します。

○開催スケジュール

各ブロック予選

各校から1名ずつ参加していただき、ブロックごとに予選を開催します。

10月19日(月)～23日(金) 1週間のうち1日

決勝

各ブロックを勝ち抜いた中学生による決勝を開催します。

10月28日(水)

柏市内中学生 知的書評合戦
オンライン
ビブリオバトル

パトラー(発案者)がおすすめ本を紹介した後、
一番読みたくなった本「チャンプ本」を決定する競技です。

パトラー募集

学校からのお知らせ
例・参加希望者は教員先生へ
 学校図書館担当まで
お申し込み下さい

【各ブロック予選】
2020年10月19日(月) 16:00～
～**10月23日(金) 16:00～** ※1週間の中の1日

【決勝】
2020年10月28日(水) 16:00～

主催：柏市立図書館

ビブリオバトルポスター

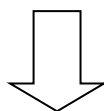
3. 資料収集方針改定の骨子案について

資料収集方針の改定を行い、「柏市図書館のあり方」の具現化につながる蔵書構成を目指します。

○現在の資料収集方針

《基本方針》

- (1) 市民が学習する上で必要となる各ジャンルの基本的及び最新の資料を収集する。
- (2) 市民の自己実現，多様な趣味に資する資料，時事問題など市民が現在知りたい事柄に関する資料を収集する。
- (3) 各近隣センターを中心に活動している学習グループや趣味のサークルを支援する資料を収集する。
- (4) ボランティア活動やNPO活動，子ども会，福祉団体，まちづくりに関わるさまざまな団体を支援するための資料を収集する。
- (5) 国際化に対応した外国語の資料及び，国際交流室と連携し，柏市に関する外国語の資料を収集する。
- (6) 高齢者やその他図書館の利用に障害のある市民に配慮した資料を収集する。
- (7) 地域の学校との連携により，総合学習等，学校図書支援に対応した資料を収集する。
- (8) 行政等の課題解決支援に配慮した資料を収集する。



○改定後の資料収集方針（案）

《基本方針》

- (1) 市民の学びと生きる力を養うことを支える。
- (2) まちや地域の魅力を生み出すコミュニティ活動を支援する。
- (3) 地域情報の把握と収集に努め，柏市に関する専門図書館としての責務を果たす。
- (4) 図書館利用に係る様々な障壁・障害を解消する。

なお，新たな資料収集方針は，年度内に策定予定です。

4. 昨年度からの柏市立図書館協議会の振り返り

1 令和元年度開催日及び会議内容等

(1) 令和元年度 第1回 (7/10)

- ・ 情報提供 「社会教育・生涯学習の基礎」 / 丹間委員
- ・ グループワーク 「社会教育施設としての図書館の可能性」

生涯学習と社会
教育について

(2) 令和元年度 第2回 (10/2)

- ・ 情報提供 「限られた資源を活かす仕組みづくり
～Exedra での事業展開を基に～」 / 羽村委員
- ・ グループワーク 「現状の課題を踏まえ、あり方とリンクした
今後の図書館事業のアイデア出し」

ハード面からの
議論

(3) 令和元年度 第3回 (3/18)

- ・ 情報提供 「CoderDojo での創造的活動と学び」 / 宮島委員
- ・ 協議 「図書館が支援できる創造的活動とは」
※紙面筆記方式での意見聴取

ソフト面からの
議論

2 令和2年度書面報告内容 (8/25 送付)

- ・ 新型コロナウイルス対応
- ・ 令和2年度上半期事業報告
- ・ 今後の取組みについて
- ・ 読書バリアフリー法に関する計画
- ・ 令和2年度柏市教育行政重点化方針

5. 令和元年度第3回柏市立図書館協議会

グループワークの振り返り

《令和元年度第3回協議会グループワーク意見から抜粋》

○テーマ：『図書館が支援できる創造的活動とは』

ハード面	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット社会の情報提供（電子書籍，郷土資料のデジタル発信等） ・電源とWi-Fi！！
	場	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の「いきぬき」，「にげ場」 ・コンピュータを使った創作活動を認める場の確保 ・材料や機材の提供（又は販売）
ソフト面	学び	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1の人間関係ではなく，図書館という施設全体が市民一人一人を支援する意識 ・発見する楽しさ，達成する喜び，学びの楽しさを共感できる場づくり ・好きなこと，興味のあることにとことん取り組める地域の核 ・子どもたちの学びの種を広げる多種多様な学びの場の提供 ・創造性を促す4つのP <ul style="list-style-type: none"> <Project>世にある面白いProjectの紹介，Projectが紹介された本の特集等 <Passion>情熱的な人を見る，話を聞く，関わる機会の創出 <Play>図書館との関りが薄い層が「参加したい」と思えるエッジの効いたユニークな遊び心あふれるプロジェクトに！+低関与層への情報発信と彼ら彼女らに響く発信方法を！ <Peer>仲間作り，メンター集め ・Creative Learning Spiralに沿った仕組みデザイン⇒特にshare（共有）とreflect（振り返り） ・空き場所を利用し，学ぶ場所やコーナーを設置⇒コンピュータ創造の学び
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・建物を中心とした地域交流（交流のために図書館に集まる読書会や学習会，高齢者や子ども，主婦等の交流の場） ・新しい知識と人との関わりを求める市民に応じられるような場 ・仲間との交流や気づき，背中を押してくれる支援の場，きっかけ作りの場，多様な経験と異年齢の集まる開放的なメンター拠点で調べる・話す・聴くということを重ねる場所，共に感動する環境づくり ・高齢者パワーを利用した近現代資料の収集・保存・活用

6. 情報提供とグループワーク

1 情報提供

テーマ『地域資料の収集のきっかけとその必要性／多世代交流型コミュニティ実行委員会代表 常野正紀氏』(45分)

2 グループワーク

テーマ『今後の地域資料の収集・保存・活用に関する意見出し』
(40分)

【テーマについての補足】

協議事項①：「どうすれば市民が当事者意識を持ち、主体的に地域の資料の収集・保存・活用に取り組んでもらえるか」

協議事項②：「市民と行政の役割分担はどうあるべきか」

【グループワークの進め方】

まず、以下のグループに分かれていただきます。

・ Aグループ
羽村委員，増山委員，三浦委員，大野委員，田中委員

・ Bグループ
丹間委員，菅原委員，窪田委員，加藤委員，上野委員

グループに分かれた後、以下の時間配分で議論を進めていただきます。

【15：05～15：10】事務局から議論の前提となる条件を説明

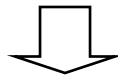
【15：10～15：45】協議事項①について議論⇒協議事項②について議論

【15：45～16：00】グループ毎に発表

※地域資料に関する補足情報

○第1回柏市立図書館交流型講演会（2月16日開催）の講演内容の抜粋

- ・いまの柏市を考えるための資料が公立図書館にとって重要な地域資料となる
→特に重要なのは戦後社会の特徴をとらえた資料
- ・「プレ文化資源」と呼ばれるような評価が定まっていない資料から、自分たちで価値を発見していく過程が重要 Ex) 当時の一般の人が残した写真，市役所の広報課が撮影した写真
- ・行政現場でのデータ管理は重要であり，利活用・バックアップのためにもデジタル化は必須
- ・文字や写真，映像に留まらない地域資料の例→人の行動データ Ex) 陸前高田市では，津波の際の避難者の移動経路データを人命に関わる地域資料として提示
- ・今後図書館が注力すべき情報提供については，紙媒体を中心とした資料提供から，電子媒体での提供にシフトしなければならず，対象となる資料については，地域のアイデンティティの再構築に必要な地域資料の優先度を上げるべき



「ここにしかない」地域資料の把握と公開
分館の活用